

令和6年度 昭和館運営事業の実施状況について

(令和7年1月末日現在)

1 昭和館入場者状況

(1) 総入場者数

243,144人(5年度同期 130,926人 対比85.7%増)
 なお、平成11年度以降の入場者総数は、6,998,652人となった。

(2) 各展示室等の入場者内訳

	令和6年度入場者数 (令和6年4月～令和7年1月)	令和5年度同期入場者数 (令和5年4月～令和6年1月)	対比
ア 常設展示室	50,460人	48,717人	3.6%増
個人有料入場者	23,308人	21,870人	6.6%増
団体入場者	21,830人	21,971人	0.6%減
無料入場者	5,322人	4,876人	9.1%増
イ 映像・音響室	28,216人	22,507人	25.4%増
ウ 図書室	11,867人	10,055人	18.0%増
エ 特別企画展	99,902人	37,265人	168.1%増
オ ニュースシアター	52,699人	12,382人	325.6%増
計	243,144人	130,926人	85.7%増

昭和館利用状況 令和7年1月31日現在

A

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
常設展示室	65歳以上	474	380	253	219	238	272	326	383	264	0		2,809
	大人	1,571	1,576	1,184	1,202	2,145	1,290	1,434	1,538	1,300	0		13,240
	高・大学生	239	412	300	289	432	207	261	261	238	0		2,639
	小・中学生	264	356	331	413	793	278	210	367	256	0		3,268
	ぐるっとパス	86	179	194	148	181	124	143	182	115	0		1,352
	小計	2,634	2,903	2,262	2,271	3,789	2,171	2,374	2,731	2,173	0	0	23,308
	遺族会	0	0	59	85	84	0	74	107	0	0		409
	大人	40	106	293	134	41	76	161	182	50	0		1,083
	高・大学生	30	73	126	57	32	0	51	98	60	0		527
	小・中学生	447	2,150	4,363	2,168	29	2,185	1,234	3,381	3,854	0		19,811
団体	小計	517	2,329	4,841	2,444	186	2,261	1,520	3,768	3,964	0	0	21,830
	中計(ア)	3,151	5,232	7,103	4,715	3,975	4,432	3,894	6,499	6,137	0	0	45,138
	招待券	700	226	426	199	1,255	235	187	390	329	0		3,947
	未就学児	23	35	38	21	31	12	18	23	29	0		230
	身体障害者等	278	155	128	118	157	75	100	69	65	0		1,145
	小計(イ)	1,001	416	592	338	1,443	322	305	482	423	0	0	5,322
	計①(ア)+(イ)	4,152	5,648	7,695	5,053	5,418	4,754	4,199	6,981	6,560	0	0	50,460
	大人	2,428	2,113	1,696	1,697	2,217	1,566	1,701	1,932	1,555	1,408		18,313
	高・大学生	71	65	65	54	77	21	47	140	37	27		604
	小・中学生	329	1,333	1,410	932	427	840	361	1,504	1,652	511		9,299
図書室	計②	2,828	3,511	3,171	2,883	2,721	2,427	2,109	3,576	3,244	0	0	28,216
	大人	925	893	717	898	1,158	836	870	927	760	619		8,603
	高・大学生	44	60	85	74	107	46	35	59	65	87		662
	小・中学生	133	272	196	261	261	460	48	375	520	76		2,602
	計③	1,102	1,225	998	1,233	1,526	1,342	953	1,361	1,345	782	0	11,867
	特別企画展④	23,486	11,831	11,315	7,415	15,735	7,088	5,039	5,581	8,447	3,965		99,902
	ニュースシアター⑤	10,523	7,017	4,585	4,519	5,423	4,969	3,723	4,825	4,172	2,943		52,699
	合計①+②+③+④+⑤	42,091	29,232	27,764	20,903	30,823	20,580	16,023	22,324	23,768	9,636	0	243,144

B

		昨年度同期累計	A-B
個人	65歳以上	2,811	-2
	大人	11,668	1,572
	高・大学生	2,165	474
	小・中学生	3,856	-588
	ぐるっとパス	1,370	-18
	小計	21,870	1,438
	遺族会	365	44
	大人	809	274
	高・大学生	600	-73
	小・中学生	20,197	-386
団体	小計	21,971	-141
	中計(ア)	43,841	1,297
	招待券	3,536	411
	未就学児	215	15
	身体障害者等	1,125	20
	小計(イ)	4,876	446
	計①(ア)+(イ)	48,717	1,743
	大人	15,615	2,698
	高・大学生	502	102
	小・中学生	6,390	2,909
映像室・図書室	計②	22,507	5,709
	大人	7,899	704
	高・大学生	521	141
	小・中学生	1,635	967
	計③	10,055	1,812
	特別企画展④	37,265	62,637
	ニュースシアター⑤	12,382	40,317
	合計①+②+③+④+⑤	130,926	112,218

令和6年度 特別企画展・巡回特別企画展等入場者状況

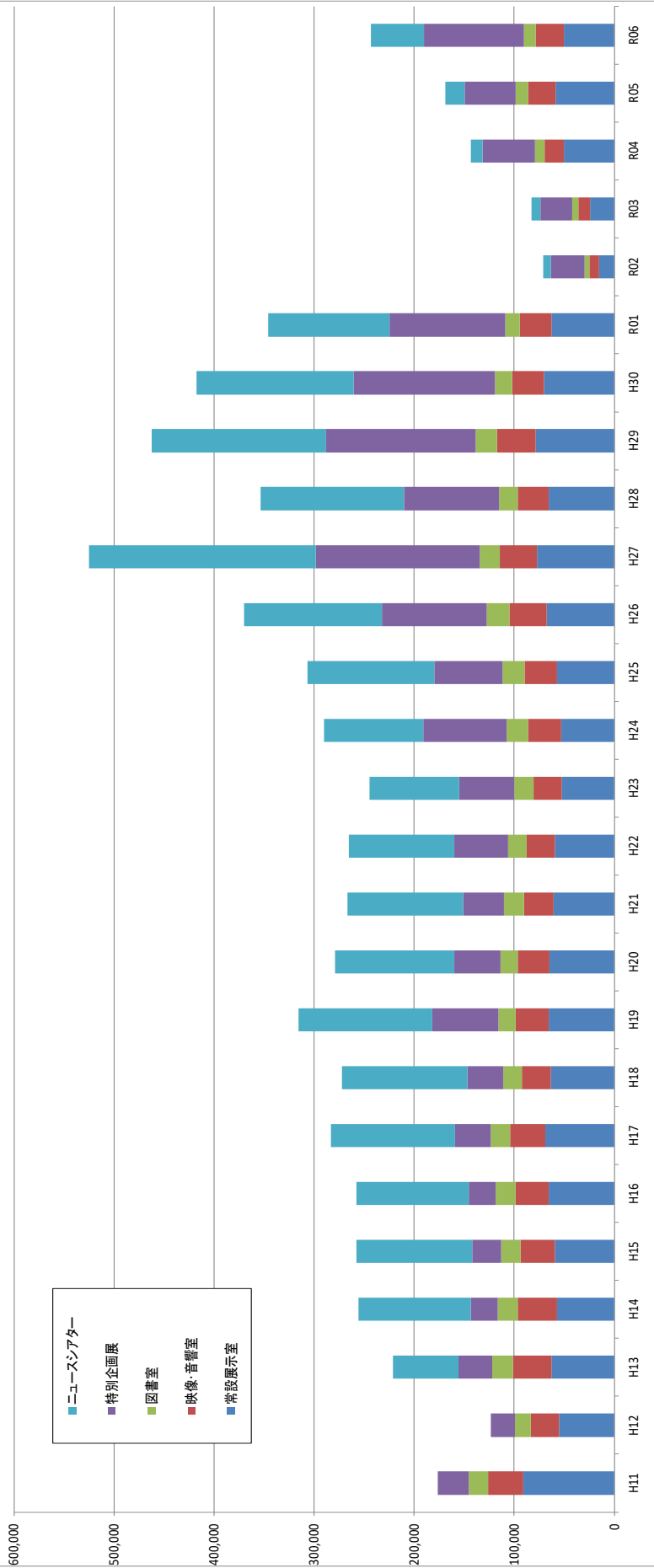
内 容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
特別企画展「昭和を駆け抜けた超特急」 3/9～5/6(イベント含)	10,507 (イベント62)	3,855 (イベント91)											14,362
「失われゆく昭和の仕事」(写真展) 3/12～6/30	12,957	7,869	6,218										27,044
特別企画展「慰問 銃後からのおくりもの」 7/20～9/8(イベント含)				2,074	6,578 (イベント81)	1,358 (イベント27)							10,010
「子ども霞ヶ関見学デー」8/7～8/8					849								849
定期語り部講話	22	20	14	36	89	20	23	18	35	24			301
紙芝居定期上演会		87		73		68		66		56			350
教員のための博物館体験(中止)													0
「写真家たちがみつめた戦前・戦中」 (写真展) 7/6～10/27				5,232	8,219	5,448	4,971						23,870
落語で学ぶ戦中戦後のくらし 6/30			130										130
映画特別上映 9/14 9/15						194							194
SPLレコード鑑賞会							45			35			80
次世代の語り部と考える”戦争を語り継ぐこと”								19					19
特別企画展「くらしにみる昭和の時代 大分展」 (大分県) 6/19～6/30			4,953										4,953
特別企画展「くらしにみる昭和の時代 京都展」 (京都府) 12/18 ～12/27									3,381				3,381
「石川光陽写真展」(写真展) 11/2～2/24								5,478	5,031	3,850			14,359
合 計	23,486	11,831	11,315	7,415	15,735	7,088	5,039	5,581	8,447	3,965	0	0	99,902

昭和館入場者状況の推移（平成11年度～令和6年度）

	常設展示室						映像・音響室	図書室	特別企画展	ニュースコーナー	総 計
	大人	高校・大学生	小・中学生	ぐるっとバス	無料	合計					
平成11年度	84,620	2,479	3,737	－	－	90,836	35,236	19,398	31,142	－	176,612
平成12年度	40,457	1,973	10,186	－	2,914	55,530	27,661	16,370	24,112	－	123,673
平成13年度	36,830	2,396	19,739	－	3,610	62,575	38,866	20,616	33,903	65,124	221,084
平成14年度	29,847	3,373	19,710	－	4,016	56,946	39,286	20,622	26,204	112,402	255,460
平成15年度	28,802	2,725	22,713	－	5,235	59,475	34,328	19,072	28,953	115,594	257,422
平成16年度	29,862	3,140	27,162	－	5,592	65,756	33,046	19,573	26,920	112,164	257,459
平成17年度	30,288	2,596	29,502	－	6,265	68,651	35,416	19,449	35,611	124,259	283,386
平成18年度	28,407	2,919	25,504	－	6,363	63,193	29,225	18,465	35,848	125,484	272,215
平成19年度	26,845	3,611	27,519	－	7,605	65,580	32,683	17,617	66,280	133,564	315,724
平成20年度	23,489	3,245	31,847	－	6,082	64,643	32,101	17,270	45,719	119,418	279,151
平成21年度	20,997	2,412	28,736	2,540	6,059	60,744	29,787	19,898	40,627	115,523	266,579
平成22年度	21,076	2,605	28,051	2,102	5,194	59,028	28,388	19,011	53,423	105,242	265,092
平成23年度	18,400	3,347	24,067	1,815	4,868	52,497	28,410	19,130	55,293	88,989	244,319
平成24年度	19,340	2,644	24,419	1,662	5,206	53,271	33,092	20,984	83,568	99,329	290,244
平成25年度	20,952	3,173	24,932	1,636	6,284	56,977	32,653	22,013	68,427	126,225	306,295
平成26年度	20,367	3,225	33,335	1,884	8,524	67,335	37,692	22,523	104,753	138,008	370,311
平成27年度	28,362	3,689	34,660	2,559	7,667	76,937	37,252	20,499	163,928	226,440	525,056
平成28年度	21,932	3,264	33,706	1,913	4,461	65,276	31,007	18,781	95,210	143,326	353,600
平成29年度	23,737	3,152	44,970	1,795	5,091	78,745	38,110	21,449	149,538	174,407	462,249
平成30年度	24,890	4,060	34,244	1,818	5,572	70,584	31,176	17,626	141,383	156,586	417,355
令和元年度	22,094	3,227	30,812	1,730	4,655	62,518	32,285	14,095	115,478	121,684	346,060
令和2年度	8,117	805	3,792	661	1,695	15,070	10,116	4,573	33,389	7,966	71,114
令和3年度	8,714	1,366	10,939	848	2,047	23,914	12,246	5,832	31,583	8,888	82,463
令和4年度	14,955	2,728	26,768	1,361	4,638	50,450	19,239	9,351	52,320	12,055	143,415
令和5年度	19,416	3,186	28,402	1,669	5,908	58,581	27,841	11,940	51,025	19,783	169,170
令和6年度	17,541	3,166	23,079	1,352	5,322	50,460	28,216	11,867	99,902	52,699	243,144
合 計	670,317	74,506	652,531	27,345	130,873	1,555,572	795,358	448,024	1,694,539	2,505,159	6,998,652

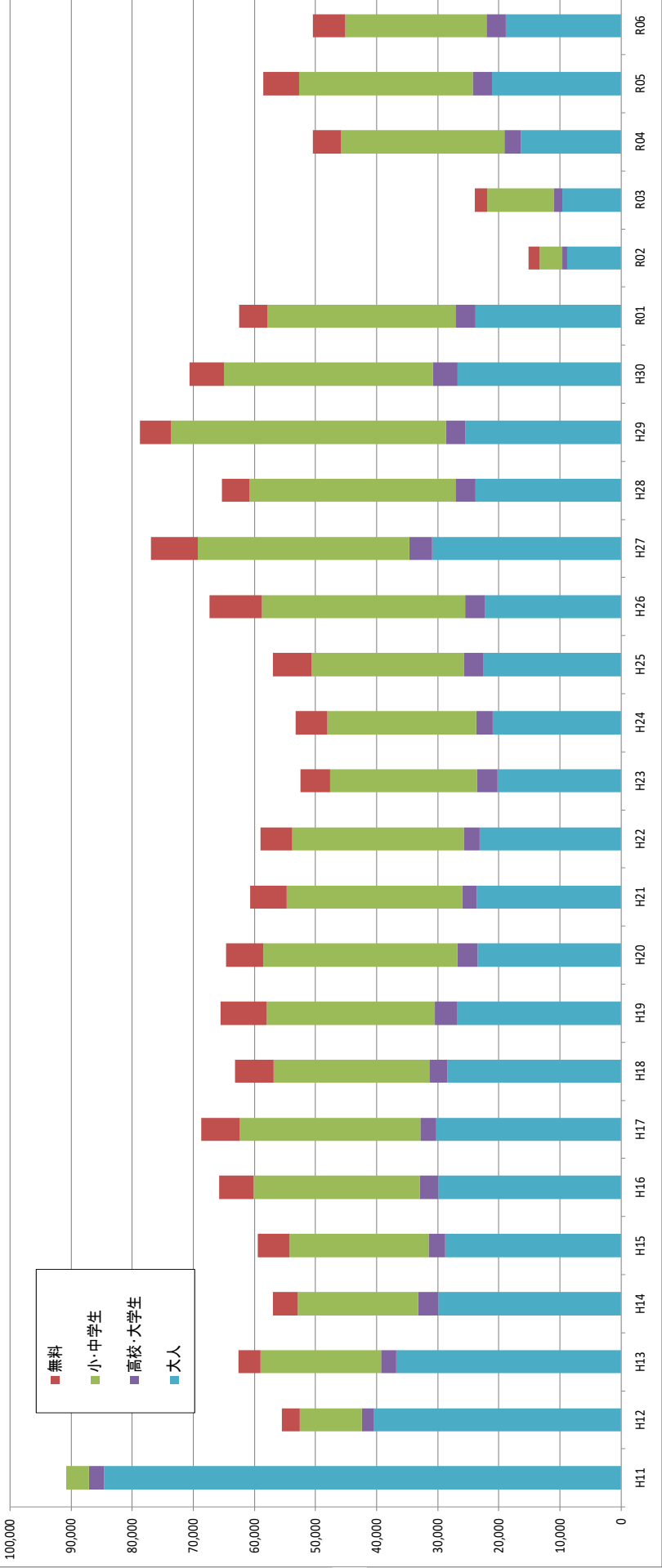
昭和館入場者状況の推移(平成11年度～令和6年度)

	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	合計
常設展示室	90,836	55,530	62,575	56,946	59,475	65,756	68,651	63,193	65,580	64,643	60,744	59,028	52,497	53,271	56,977	67,335	76,937	65,276	78,745	70,584	62,518	15,070	23,914	50,450	58,581	50,460	1,555,572
映像・音響室	35,236	27,661	38,866	39,286	34,328	33,046	35,416	29,225	32,683	32,101	29,787	28,388	28,410	33,092	32,653	37,692	37,252	31,007	38,110	31,176	32,285	10,116	12,246	19,239	27,841	28,216	795,358
図書室	19,398	16,370	20,616	20,622	19,072	19,573	19,449	18,465	17,617	17,270	19,898	19,011	19,130	20,984	22,013	22,523	20,499	18,761	21,449	17,626	14,095	4,573	5,832	9,351	11,940	11,867	448,024
特別企画展	31,142	24,112	33,903	26,204	28,953	26,920	35,611	35,848	66,280	45,719	40,627	53,423	55,293	83,568	68,427	104,753	163,928	95,210	149,538	141,383	115,478	33,389	31,563	52,320	51,025	99,902	1,694,539
ニュースシアター	-	-	65,124	112,402	115,594	112,164	124,259	125,484	133,564	119,418	115,523	105,242	88,989	99,329	126,225	138,008	226,440	143,326	174,407	156,686	121,684	7,966	8,888	12,055	19,783	52,699	2,505,159
総 計	176,612	123,673	221,084	255,460	257,422	257,459	283,386	272,215	315,724	279,151	266,579	265,092	244,319	290,244	306,295	370,311	525,056	353,600	462,249	417,355	346,060	71,114	82,463	143,415	169,170	243,144	6,998,652



昭和館入場者（常設展示室）状況の推移（平成11年度～令和6年度）

常設展示室	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	合計
大人	84,620	40,457	38,830	29,847	28,802	29,862	30,288	28,407	28,845	23,469	23,537	23,178	20,215	21,002	22,588	22,251	30,921	23,845	25,532	26,708	23,824	8,778	9,562	16,316	21,085	18,893	697,682
高校・大学生	2,479	1,973	2,386	3,373	2,725	3,140	2,596	2,919	3,611	3,245	2,412	2,605	3,347	2,644	3,173	3,225	3,689	3,264	3,152	4,060	3,227	805	1,366	2,728	3,186	3,166	74,506
小・中学生	3,737	10,186	19,739	19,710	22,713	27,162	29,502	25,504	27,519	31,847	28,736	28,051	24,067	24,419	24,932	33,335	34,660	33,706	44,970	34,244	30,812	3,792	10,939	26,768	28,402	23,079	652,531
無料	-	2,914	3,610	4,016	5,235	5,592	6,265	6,363	7,605	6,082	6,059	5,194	4,868	5,206	6,284	8,524	7,667	4,461	5,091	5,572	4,655	1,695	2,047	4,638	5,908	5,322	130,873
総 計	90,836	55,530	62,575	56,946	59,475	65,756	68,651	63,193	65,580	64,643	60,744	59,028	52,497	53,271	56,977	67,335	76,937	65,276	78,745	70,584	62,518	15,070	23,914	50,450	58,581	50,460	1,555,572



※令和5年度は令和6年1月31日現在の数字。

2 広報活動の実施状況

(1) 昭和館事業のPR活動等

昭和館事業内容のPRのため、東京メトロ九段下駅4出口、東西線2番ホーム、半蔵門線3番ホームの電飾掲示板に掲示し事業内容のPR活動を行った。

さらに、東京メトロ・東京都交通局一日乗車券特典ガイド「ちかとく」、JTBや千代田区等のガイドブック、毎月発行される千代田区報等に紹介記事を掲載した。

その他、読売新聞、東京新聞、産経新聞、毎日新聞、日本教育新聞等に広報記事を掲載した。

(2) 広報資料の送付等

ア 資料8頁の広報活動状況のとおり、「昭和館館報」については、令和6年7月に都道府県、政令指定都市、教育委員会、東京都特別区、各省庁図書館等に対して送付した。なお、都道府県遺族会、類似施設、大学図書館等には「昭和のくらし研究」も併せて送付した。

イ 令和6年6月上旬に全国の公立小・中・中等教育学校に「昭和館だより第41号」を送付した。

ウ さらに、全国の公立中・中等教育学校へ貸出キットのチラシを、首都圏（東京・埼玉・千葉・神奈川）の小・中学校へ「次世代の語り部講話派遣」のチラシを送付し周知を図った。

エ 上記とは別に令和6年6月に23区・9市の校長会を訪問し「昭和館だより40号」「貸出キット」「昭和館パンフレット・リーフレット」「次世代の語り部講話派遣」「作文コンクール」のチラシを配付し、令和6年6月上旬に千代田区の小学校の全校生徒、千代田区を除く22区と9市の小学校5年生に「昭和館だより第41号」を送付した。

さらに、11月下旬までに来館した中学校と高等学校に対して、「中学生・高校生ポスターコンクール」のチラシとポスターを送付した。

オ また、東京都小学校社会科研究会で「昭和館だより41号」「貸出キット」「作文コンクール」「次世代の語り部講話派遣」のチラシを配付した。

(3) 「昭和館だより」の発行

昭和館の活動を学校等に随時伝えるため、「昭和館だより第41号」を、令和6年5月に発行し、(2)に記載した教育関係機関に発送した。

(4) 昭和館の刊行物の発刊

ア 令和5年度の昭和館の活動状況をまとめた「昭和館館報」（第25号）を令和6年7月に発刊した。

イ 「昭和のくらし研究」（第23号）を令和7年3月に発刊予定。

広 報 活 動 状 況

1 地方公共団体等への「昭和のくらし研究」の送付

広報対象機関名	館報25号	昭和のくらし22号	実施日
都道府県	47	—	2024年 7月
政令指定都市	20	—	
教育委員会	239	—	
東京特別区	23	—	
都道府県遺族会	47	47	
類似施設	246	250	
資料寄贈者(個人:49、団体:68)・オーラルヒストリー関係者(6)	123	—	
大学図書館等	168	198	
遺族会・運営専門委員会・国会図書館・各省庁図書館	27※	2 ※	

※国会図書館には各2冊

2 全国の学校等への広報資料の送付

広報対象機関名	学校数等	学校向け広報誌 「昭和館だより41号」	貸出キット のちらし	語り部講話派遣 のチラシ	作文コンクール のチラシ	実施時期
全国の公立小学校	19,300	19,300	19,300	—	—	2024年 6月
全国の公立中・中等教育学校	10,300	10,300	10,300	—	—	
千代田区内の公立小学校	8	3,630 (全校生徒)	8	8	8	
東京都の校長会等で配布依頼した小学校	1,047	105,260 ※5年生・千代田区を除く	1047	1047	1047	

広報対象機関名	学校数等	学校向け広報誌 「昭和館だより42号」	語り部講話派遣 のチラシ	実施時期
全国の公立小・中学校	29,600	29,600	—	2024年 11月
東京・埼玉・千葉・神奈川の小学校	3,772	—	3,772	

広報対象機関名	学校数等	学校向け広報誌 「昭和館だより42号」	貸出キット のちらし	語り部講話派遣 のチラシ	作文コンクール のチラシ	実施時期
東京都小学校社会科研究会月例会	50	50	50	50	50	2024.7.9
東京都新宿区小学校社会科研究会部会	50	50	50	50	50	2024.7.10
東京都小学校社会科研究会(夏季研修会)	200	200	200	200	200	2024.8.22

3 公共交通、新聞へのポスター、広告等掲載

広報媒体	掲 載	方 法	内 容	実施時期	備考
WEB	東京観光GOTOKYO(東京観光財団)	紹介記事	昭和館の案内	通年	無料
WEB	ちかとか	紹介記事	昭和館の案内	通年	無料
WEB	千代田区観光協会HP	紹介記事	昭和館の案内	通年	無料
WEB	JAF	紹介記事	昭和館の案内	通年	無料
WEB	JNTO(日本政府観光局)	紹介記事	昭和館の案内	通年	無料
WEB	Japan Sports Journey(東京観光財団)	紹介記事	昭和館の案内	通年	無料
ガイドマップ	千代田区ミュージーズ&シアターマップ(日・英)	紹介記事	昭和館の案内	2024-2025	無料
ガイドマップ	東京マラソン2025観光みどころマップ	紹介記事	昭和館の案内	2025.2発行	無料
ガイドブック	地球の歩き方東京(改訂版)	紹介記事	昭和館の案内	2024.9発行	無料
ガイドブック	東京観光バリアフリーガイド2025	紹介記事	昭和館の案内	2025.4発行	無料
広報誌	広報千代田	イベント案内	昭和館の紹介(特別企画展・写真展・資料公開コーナー)	通年	無料
広報誌	道具学会News	イベント案内	昭和館の紹介(特別企画展・写真展)	通年	無料
広報誌	千代田区生涯学習ガイドブック	紹介記事	昭和館の案内	2024年春号	無料
新聞	東京新聞メトロポリタン+	紹介記事	昭和館の案内	2024.6.12	無料
新聞	大分合同新聞	イベント案内	昭和館の紹介(大分展)	2024.6.20、21	無料
新聞	読売新聞(大分県版)	イベント案内	昭和館の紹介(大分展)	2024.6.23	無料
新聞	毎日新聞(大分県版)	イベント案内	昭和館の紹介(大分展)	2024.6.24	無料
新聞	東京新聞	紹介記事	昭和館の紹介(オールラルヒストリー)	2024.7.23	無料
新聞	毎日新聞	イベント案内	昭和館の紹介(夏の特別企画展)	2024.7.23	無料
新聞	京都新聞	紹介記事	昭和館の紹介(オールラルヒストリー)	2024.8.11	無料
新聞	朝日新聞	イベント案内	昭和館の紹介(夏の特別企画展)	2024.8.14	無料
新聞	読売新聞	紹介記事	昭和館の紹介(語り部)	2024.8.14	無料
新聞	毎日新聞	紹介記事	昭和館の案内	2024.8.23	無料
新聞	毎日新聞	紹介記事	昭和館の紹介(写真展)	2024.12.5	無料

広報媒体	掲 載	方 法	内 容	実施時期	備考
公共交通	都営地下鉄新宿線(出口4)	電飾掲示板	昭和館の案内	通年	有料
公共交通	東京メトロ東西線九段下駅(2番ホーム)	電飾掲示板	昭和館の案内	通年	有料
公共交通	東京メトロ半蔵門線九段下駅(3番ホーム)	電飾掲示板	昭和館の案内	通年	有料
公共交通	千代田区地域福祉交通「風ぐるま」時刻表	昭和館の案内	昭和館の案内	2024.9~2025.3	有料
広報紙	日経REVIVE	イベント案内	昭和館の紹介(夏の特別企画展)	2024.6発行	有料
広報誌	千代田さくら祭り公式ガイドMAP	イベント案内	昭和館の紹介(春の特別企画展)	2025.3発行	有料
教育新聞	日本教育新聞	イベント案内	昭和館の紹介(夏の特別企画展)	2024.6.17	有料
新聞広告	西日本新聞	イベント案内	昭和館の紹介(大分県巡回特別企画展)	2024.6.14、17、18	有料
新聞広告	デイリースポーツ新聞	イベント案内	昭和館の紹介(写真展)	2024.7.12~7.22	有料
新聞広告	毎日新聞	イベント案内	昭和館の紹介(夏の特別企画展)	2024.7.20	有料
新聞広告	東京新聞	イベント案内	昭和館の紹介(夏の特別企画展)	2024.7.20	有料
新聞広告	読売新聞	イベント案内	昭和館の紹介(夏の特別企画展)	2024.8.28	有料
新聞広告	埼玉新聞	イベント案内	昭和館の紹介(写真展)	2024.10.31	有料
新聞広告	産経新聞	イベント案内	昭和館の紹介(写真展)	2024.11.2	有料
新聞広告	デイリースポーツ新聞	イベント案内	昭和館の紹介(写真展)	2024.12.1~12.10	有料

(5) 昭和館ホームページ

常設展示室の展示替えをはじめ、特別企画展や巡回特別企画展、写真展や資料公開コーナーの展示案内、紙芝居の上演会やオーラルヒストリー特別上映会といった催し物の案内に加えて、次世代の語り部事業についても、定期講話会や語り部派遣など最新の情報発信のため、随時内容更新を行った。

今年度のアクセス件数は、令和7年1月31日（金）現在まで130,251件（1日平均425.6件）であった。（昨年度同時期126,170件（1日平均412.3件））

(6) SNS

エックス（旧ツイッター）やフェイスブック、YouTube等のSNSにおいても、イベントの開催案内やニュースシアターの上映作品、図書室の資料紹介等を発信した。

令和7年1月31日（金）現在のアクセス件数は、以下の通りである。

エックス（旧ツイッター） 閲覧者数	フェイスブック閲覧者数	YouTube視聴回数
128,241	15,927	698,802
ポスト（旧ツイート）数	投稿数	
215	189	

3 来館促進対策

(1) 常設展示室の入場無料等について

- ・「昭和の日」令和6年4月29日（月）入場者 546人
令和5年度入場者 359人
- ・「戦没者を追悼し平和を祈念する日」令和6年8月15日（木）入場者 1,078人
令和5年度入場者 779人

(2) 第23回 昭和館作文コンクール【資料3】

昭和館または巡回特別企画展を見学および、「次世代の語り部」講話を聴く、あるいは昭和館 YouTube でオーラルヒストリー（証言映像）を視聴した小・中学生を対象に実施した。

今年度は、令和7年1月6日（月）消印有効で締め切り、団体応募が22校654作品、個人が17作品（小1～6・中1～3）、計671作品の応募があった。内容の題材は見学が286作品、オーラルヒストリーが353作品、次世代の語り部講話が26作品、その他6作品であった。

2月中に厚生労働大臣賞・昭和館館長賞などの各賞を選定し、3月上旬に賞状及び賞品の送付、3月下旬にホームページで各賞を発表する予定。

(3) 第17回 昭和館中学生・高校生ポスターコンクール

中学生・高校生の手作りポスターによって多くの人々に昭和館を伝えることを目的にポスターコンクールを実施した。

令和7年1月10日（金）消印有効で締め切り、17校（中学校11校、高校6校）69作品の応募があった。

令和7年3月上旬に最優秀賞、優秀賞などの各賞を選定し、3月下旬に賞状及び賞品の送付、4月上旬にホームページで各賞を発表する予定。

(4) 貸出キットの貸出状況

実物資料、グラフィックパネル、証言映像DVDの貸出キットについて、広報用チラシの配布を行い、来館者及び巡回特別企画展来場者へ周知を図った。

なお、令和6年度の貸出状況は以下の通りである。

(単位:件)

都道府県	小学校	中学校	地方公共団体	その他	合計
北海道				1	1
東京都	3		3	1	7
神奈川県			1	2	3
千葉県	1				1
埼玉県			2		2
群馬県				1	1
静岡県				1	1
富山県				2	2
広島県				1	1
佐賀県				1	1
合計	4	0	6	10	20

(5) 紙芝居定期上演会

昭和館が所蔵する紙芝居を使い、紙芝居師が実演する上演会を奇数月第4土曜日に実施している。

上演日	入場者	演目
令和6年 5月25日(土)	87人	「ハリケンピーちゃん」「吾一つづりかた」
令和6年 7月27日(土)	73人	「ハリケンピーちゃん」「吾一つづりかた」
令和6年 9月28日(土)	68人	「ハリケンピーちゃん」「神変大天狗」
令和6年11月23日(土)	66人	「ハリケンピーちゃん」「神変大天狗」
令和7年 1月25日(土)	56人	「ハリケンピーちゃん」「神変大天狗」

今後の予定

上演日	演目
令和7年 3月22日(土)	「ハリケンピーちゃん」「神変大天狗」

(6) こども霞ヶ関見学デー

令和6年8月7日(水)、8日(木)の2日間開催された。昭和館は、厚生労働省社会・援護局の企画として「昭和のくらしを見て・学んで・体験しよう!」のタイトルで、貸出キットや雑誌資料などの出張展示を行った。訪れた子どもたちは、昭和のあそびワークショップや、夏休みの自由研究に使用できるワークシートにチャレンジした。

開催2日間の参加者は、合計849人であった。

4 展示事業

(1) 常設展示

長期展示による資料の劣化を避け、より多くの方々の寄贈資料を紹介するため、常設展示室を休室して資料の入替と清掃作業を行った。

- ① 令和6年7月29日（月）から7月31日（水）までの3日間、常設展示室を休室し資料交換作業を実施した。
- ② 令和7年1月5日（木）から2月28日（金）までの55日間、常設展示室を休室し、LED照明交換工事、体験ひろば改修工事、一部展示ケース交換、および「終戦直後の日本」コーナーのコンテンツ更新、資料交換作業を実施した。

(2) 特別企画展

①昭和館開館25周年記念 特別企画展

「昭和を駆け抜けた超特急 ～燕（つばめ）、そして新幹線へ～」

○開催期間

令和6年3月9日（土）～5月6日（月・祝）

○後援

千代田区、千代田区教育委員会

○内 容

新幹線が登場する以前、「超特急」と呼ばれた人々の憧れる特急列車があった。その特急列車「燕」は昭和5年10月、東京―神戸間を約9時間で結び、従来の同区間の所要時間を2時間以上も短縮させたことから、当時では画期的な特急列車として活躍した。

本企画展では、超特急「燕」が誕生した昭和初期から「夢の超特急」新幹線の登場までの軌跡を紹介した。

○入場者数

21,947人（252人／1日）（内、令和6年度の入場者数は14,362人）

② 昭和館開館25周年記念 特別企画展

「慰問 銃後からのおくりもの」

○開催期間

令和6年7月20日（土）～9月8日（日）

○後援

千代田区、千代田区教育委員会

○内 容

戦時中、故郷を遠く離れて戦地に立つ兵士たちに対し、慰問品を送ることが「銃後のつとめ」のひとつとして奨励された。慰問品として手紙のほか、嗜好品や娯楽品など、多様な物が送られた。さらには手紙や物品だけでなく、兵士や傷病兵を訪ねて演芸などを披露する慰問団も結成され、様々な興行が行われた。

本企画展では、戦地へ送られた手紙や物品、慰問団の活動など、戦中の慰問について紹介した。

○入場者数

10,010人（228人／1日）

③ 「版画家が刻んだ昭和の彩り—館蔵版画集を中心に—」【資料4】

○開催期間

令和7年3月15日（土）～5月11日（日）

前期：令和7年3月15日（土）～4月13日（日）

後期：令和7年4月15日（火）～5月11日（日）

○後援

千代田区、千代田区教育委員会

○内 容

昭和館には昭和の情景をテーマとする版画集など、約600点の木版画が所蔵されている。

本企画展では、当館が所蔵する木版画の中から版画集に焦点を当てて、版画家たちが木版画に刻んだ昭和の情景を紹介する。

（3）巡回特別企画展

① 「くらしにみる昭和の時代 大分展」

○開催期間

令和6年6月19日（水）～6月30日（日）

○会 場

大分県立美術館 第1展示室 A

（大分県大分市寿町2-1）

○主 催
昭和館

○協賛・後援等

- ・協 力 一般財団法人大分県遺族会および日本遺族会第5ブロック
- ・後 援 大分県 大分県教育委員会 大分市 大分市教育委員会 大分合同新聞社
西日本新聞社 朝日新聞大分総局 読売新聞西部本社 NHK 大分放送局
OBS 大分放送 TOS テレビ大分 OAB 大分朝日放送 OCN 大分ケーブル
ネットワーク 大分ケーブルテレコム

○同時開催 しょうけい館、平和祈念展示資料館

○内 容

戦後生まれの世代が大多数を占める今、戦中・戦後の労苦について国民への理解を深め、次の世代へ語り継ぐため、東京の3つの国立の施設が合同で展示をおこなった。

昭和館は、戦中・戦後の国民生活上の労苦を後世代に伝えるため、大分県ゆかりの実物資料・写真資料・映像資料等を通じて、困難が多かった時代における人々の暮らしを紹介した。

○入場者数

4, 9 5 3 人 (約 4 1 3 人／1 日)

② 「くらしにみる昭和の時代 京都展」

○開催期間

令和6年12月18日(水)～12月27日(金)

○会 場

京都市勧業館みやこめっせ 地下1階特別展示場
(京都市左京区岡崎成勝寺町9-1)

○主 催
昭和館

○協力・後援等

- ・協 力 一般財団法人京都府遺族会および日本遺族会第3ブロック
- ・後 援 京都府 京都府教育委員会 京都市 京都市教育委員会 京都新聞 読売新聞
京都総局 朝日新聞京都総局 毎日新聞社京都支局 NHK京都放送局
KBS京都 エフエム京都

○内 容

戦中・戦後の国民生活上の労苦を後世代に伝えるため、京都府ゆかりの実物資料・写真資料・映像資料等を通じて、困難が多かった時代における人々の暮らしを紹介した。

○入場者数

3, 3 8 1 人 (約 3 3 8 人／1 日)

(4) 写真展の開催（2階ひろば）

① 「失われゆく昭和の仕事 ―戦中・戦後の街頭風景―」

○開催期間

令和6年3月12日（火）～6月30日（日）

○内 容

今では見かけることが少なくなった昭和の仕事を紹介した。

○入場者数

33,100人（338人／1日）（内、令和6年度の入場者数は27,044人）

② 昭和館開館25周年記念「写真家たちがみつめた戦前・戦中」

○開催期間

令和6年7月6日（土）～10月27日（日）

○内 容

昭和館で所蔵している、公益社団法人日本写真家協会(JPS)の報道写真から戦前・戦中の写真を紹介した。

○入場者数

23,870人（244人／1日）

③ 昭和館開館25周年記念「石川光陽写真展【第1期】昭和の幕開け・モダン東京」

○開催期間

令和6年11月2日（土）～令和7年2月24日（月）

○内 容

警視庁で写真撮影を担当していたカメラマン、石川光陽の作品を3期にわたって紹介する。第1期では、昭和初期から日中戦争が始まる昭和12年にかけて撮影した写真を展示した。

○入場者数

14,359人（202人／1日） ※令和7年1月末現在

④ 戦後80年特別企画「石川光陽写真展【第2期】戦時下の東京」【資料5】

○開催期間

令和7年3月1日（土）～6月29日（日）

○内 容

第2期は日中戦争が始まった昭和12年から20年8月15日終戦の頃までに撮影された作品を展示する。

5 資料収集

(1) 実物資料の収集

令和6年度は収蔵庫の整理を優先し、資料収集については最小限にとどめているが、資料補修等は従来通り進める。

令和7年1月末日における実物資料点数は、以下の通りである。

	令和6年度収集	累 計
寄贈資料	除籍 11 点	46, 263 点
購入資料	0 点	14, 646 点
厚生労働省資料	0 点	3, 243 点
計	▲11 点	64, 152 点

(2) 図書資料の収集

令和6年度は写真集や手記、部隊史などに重点を置いて収集に努め、巡回特別企画展の開催地及び開催予定地、未開催地関連の資料の充実をはかるとともに、閲覧希望が多い少年少女向け雑誌・女性雑誌等の欠号補充を継続して行った。

令和7年1月末日における図書・雑誌資料の収集は以下の通りである。

	令和6年度収集	累 計
国民生活関係図書	896 冊 (637 冊寄贈)	74, 916 冊
戦争に関する基本図書	182 冊 (116 冊寄贈)	24, 356 冊
独自資料	0 冊	35, 980 冊
その他基本図書	1 冊 (0 冊寄贈)	11, 690 冊
計	1, 079 冊 (753 冊寄贈)	146, 942 冊

(3) 映像・音響資料の収集・整理

令和6年度は、児童養護施設「愛児の家」が所蔵する昭和20年代から30年代にかけての戦災孤児の写真の他、昭和18年の東京市第四日暮里国民学校（現・荒川区立ひぐらし小学校）の卒業アルバム、旧制新潟高等学校（現在の新潟大学人文学部及び理学部の前身）六花寮の生活を写した昭和18年から20年頃の写真などの寄贈を受け入れた。

また、長野県北佐久郡芦田村へ疎開した堀之内国民学校（現・杉並区立堀之内小学校）の記録映像等を受け入れた。

その他、慰問や恤兵関連のレコードを含むSPレコード321枚および附属歌詞カードなどの寄贈を受け入れた。

令和6年度は以下の資料のデジタル化を行った。順次データベースに登録し、資料情報の整理を終えたものから公開する。

資料内容	点数	受入年度
師岡宏次撮影写真のネガコレクション	311点	令和元年
愛児の家所蔵写真（ネガ資料）	1,051点	令和6年
S Pレコード（音源化およびレーベル画像撮影）	500枚 （1,000点）	平成11年
短編映画16ミリフィルム	36巻	平成9年

（４）オーラルヒストリーの制作

戦中・戦後の国民生活上の労苦を伝える事業の一環として、平成16年度から体験者の証言を映像記録として残す事業を進めている。

令和6年度は東京近郊及び宮城県にお住まいの方4名の聞き取り調査および収録を行った。

6 戦中・戦後の労苦を伝える戦後世代の語り部事業

- ① 現在の次世代の語り部は19名。
 - ② 毎月第一日曜日に定期講話会を実施し、各回2名の次世代の語り部が講話を行った（計12回実施。1月まで301名参加）。その他、学校や自治体等の要請を受け、館内や現地に赴いて講話を行った。
- 講話派遣の実施状況は以下のとおりである。

派遣先	派遣件数	参加者数
学校関係	50	4,896
自治体関係	13	525
その他	6	179
合 計	69	5,600

（令和7年1月31日現在）

- ③ 昨年度に引き続き、講話の充実と「次世代の語り部」としての知識や意識の向上をはかるため、他施設の伝承者との交流や語り部間の意見交換を行う等、フォローアップ研修を実施した。
- ④ 開館25周年を記念して、高校生・大学生を対象としたイベントを開催した。
 タイトル：「次世代の語り部と考える“戦争を語り継ぐこと” in 昭和館」
 開催日時：令和6年11月10日（日） 13：30～15：45
 参加者数：学生19名、次世代の語り部15名
 内 容：常設展示室の見学（同行説明）
 次世代の語り部の講話
 「軍国少年の戦中・戦後～終戦時13歳の今吉孝夫さんの体験を中心として」
 次世代の語り部とのグループトーク

7 情報検索システムの充実

① デジタルアーカイブの公開

昭和館デジタルアーカイブは令和5年4月に公開を開始し、令和6年4月から令和7年1月末日までのアクセス件数は1, 158, 020件であった。

② 図書・雑誌の装備及びデータ入力

収集した図書・雑誌が閲覧できるようにするため、令和6年度は令和5年度に受け入れた図書・雑誌1, 057冊の装備と書誌及び目次データの入力を行った。

8 資料公開等

(1) 映像資料等の提供状況

令和7年1月31日現在における映像音響資料の公開データは以下の通りである。

	令和6年度公開	公開データ総数
写真資料	890件	35,695件
映像資料	93件	3,652件
音響資料	1,046件	15,695件
計	2,029件	55,042件

<主な新規公開資料>

資料内容	点数	受入年度
石川光陽撮影写真	747点	平成9年
短編映画	10本	平成9年
令和5年度制作の昭和館オーラルヒストリー	7本	

(2) 資料公開コーナーの運用

図書情報部では、4階図書室及び5階映像・音響室の利用促進と、収蔵資料にさらに多くの方に関心をもって見ていただくことを目的に、平成19年より1階ロビーにおいて資料公開コーナーを設けている。

令和6年度に実施した内容は以下のとおりである。

実施回	タイトル	期間
第92回	第16回中学生・高校生ポスターコンクール 入賞作品展示	令和6年4月2日(火) ～6月30日(日)
第93回	白球の軌跡～人々を魅了した野球～	令和6年7月2日(土) ～9月29日(日)
第94回	夢の超特急 ～東海道新幹線開通60周年～	令和6年10月1日(火) ～12月27日(金)
第95回	村岡信明が描いた死と生、そして鎮魂 ～東京大空襲の記憶～	【第1期】 令和7年1月5日(日) ～2月16日(日) 【第2期】 令和7年2月18日(日) ～3月30日(日)

(3) 資料の紹介

① 昭和館懐かしのニュースシアター

ニュースシアター会場においてニュース映画等を178点、オーラルヒストリー28作品（令和7年1月末）を毎日上映した。初めての試みとして、毎月第4週目はニュース映画に加え、一部抜粋したオーラルヒストリー3作品（半藤一利さん「10代の太平洋戦争＜東京大空襲編＞、仲代達矢さん「少年時代と戦争」、鈴木喬さん「焼け跡からの出発」などを紹介し、来館者促進を図る他、「夏休み特別上映」では「読売国際ニュース178号『臨海学校と林間学校』」など子ども向けの時事的なトピックを紹介し、SNSで告知した。

② 昭和館 Youtube チャンネルでの紹介

米国国立公文書館から入手した映像やオーラルヒストリーは昭和館 YouTube チャンネルでも一部を公開している。令和7年1月31日現在、YouTube で公開している映像・音響室所蔵資料は、米国国立公文書館映像69本、オーラルヒストリー207本である。米国国立公文書館映像の内3本の映像は、視聴回数が100万回を超えている。

参考：1位「日本の艦船；擱座(かくざ)、沈没、破壊 記録映像」（133万回）

2位「大竹の日本人引揚者 記録映像」（114万回）

3位「日本人の捕虜 記録映像」（103万回）

③ 図書室での資料紹介

図書室では様々なテーマを設けて図書を紹介している。令和6年度は「建物疎開ってなあに？」「プラネタリウムがやってきた」「グラフ雑誌にみる『太平洋戦争開戦』」等をテーマに関連資料を紹介した。

継続企画としては、「あなたの出身地は？ 昭和館で見られる47都道府県の資料」と題し、2か月ごとに各都道府県の関連資料の紹介をしている。

また資料公開コーナーや、帰還者たちの記憶ミュージアム（平和祈念展示資料館）が令和7年2月5日（水）から11日（火・祝）に九段生涯学習館において開催する絵画展「戦争になるとどうなるの？ マンガ・挿絵で見る戦争体験」に関連する資料紹介を行う等、館内外との協力、連携をはかった。

④ 映像・音響室での資料紹介

映像・音響室の入口にある大型モニターでは、写真展に関連した映像等を紹介した。

S Pレコードについては、来館者端末だけでなく試聴機でも随時テーマを設けて音源の紹介をしている。

⑤ 昭和館 S Pレコード鑑賞会

S Pレコード資料を紹介するため、一昨年12月の第1回目につき、第2回目を令和6年10月13日に、第3回目を令和7年1月11日に開催した。

第2回目

日時：令和6年10月13日（日）

会場：ニュースシアター会場

内容：生誕100年をむかえた俳優の高峰秀子（1924～2010）が戦中に収録した音源をはじめ、戦前から戦後にかけて発行されたS Pレコード6点をアナログ再生した。

参加者：45人

第3回目

日時：令和7年1月11日（金）

会場：ニュースシアター会場

内容：戦前・戦後の「東京」をテーマにした流行歌や映画の主題歌、戦時中の「代用品」をテーマにした漫才など、戦前から戦後にかけて発行されたSPレコード6点をアナログ再生した。

参加者：35人

（4）利用促進

① SNSでの情報発信

エックス（旧ツイッター）やフェイスブックでは、図書室の資料紹介やニュースシアターの上映作品等の情報を発信している。

② ゴールデンウィークイベント

実施期間：令和6年4月29日（月・祝）～5月6日（月・祝）

小・中学生の利用促進し、資料の理解を深めることを目的として以下のイベントを実施した。

●図書室「運命の一冊」（参加者：50人）

戦中・戦後のくらしを描いた絵本など、短時間で読める図書を選定し、書名を隠した状態の本を設置しておき、手に取った本を読んでもらう。

●映像・音響室「写真展『失われゆく昭和の仕事』関連クイズ」

写真展の内容に関連した写真・映像・SPレコード資料のクイズをSNS上に投稿し、翌日の解答投稿時には解答だけでなく資料に付随するエピソード等も紹介した。昭和館デジタルアーカイブへのリンクも貼り、他の資料への興味をつなげるようにした。

③ 夏休みイベント

実施期間：令和6年7月20日（土）～9月8日（日）

小・中学生の利用を促進し、資料の理解を深めることを目的として以下のイベントを実施した。

●ワークシートの設問を通して図書室及び映像・音響室の資料を知り、「戦中・戦後のくらし」を身近に感じてもらう。会期中1,576枚を配付し、991枚の提出があった。

（ワークシート 全9種）

図書室：「慰問」「くらしの道具」「学校生活」「空襲」「戦時下の衣服」「動物園と戦争」「図書室ワークシート」

映像・音響室：「基本編（小・中学生向け）」「上級編（高校生・一般向け）」

9 関係施設との連携

（1）関係施設等連携会議の開催

関係施設等連携会議（昭和館事務局）を開催するとともに、しょうけい館、平和祈念展示資料館との3館の連携に取り組んだ。

関係機関：厚生労働省社会・援護局援護企画課、

総務省大臣官房総務課管理室、平和祈念展示資料館、

しょうけい館、昭和館

第26回会議を令和6年6月5日（水）に開催

第27回会議を令和7年2月28日（金）に開催予定

(2) 「夏休み3館めぐりスタンプラリー」

令和6年7月20日(土)～9月8日(日)

共催 しょうけい館、平和祈念展示資料館

参加者 6,615人

(3) 特別展示「戦争になるとどうなるの？」を開催

令和7年2月5日(水)～2月11日(火・祝)

主催 平和祈念展示資料館

協力 昭和館、しょうけい館

場所 九段生涯学習館 2階 九段ギャラリー

(4) 巡回特別企画展の相互協力

大分県大分市において昭和館、しょうけい館、平和祈念展示資料館3館合同巡回展を実施した。

令和6年6月19日(水)～6月30日(日)

10 昭和館運営専門委員会の開催

昭和館運営事業について有識者から様々な意見を聴取するため、以下のとおり、昭和館主催の昭和館運営専門委員会を開催。

第1回運営専門委員会開催

令和6年6月25日(火)に開催

第2回運営専門委員会開催

令和7年3月6日(木)に開催予定

11 開館25周年記念事業

平成11年3月27日の開館から、令和6年3月27日(水)に開館25周年を迎えたことから、令和6年度は以下の記念関連事業・イベント等を実施し、昭和館の認知度を高めることに努めた。

(開館25周年記念事業)

① 開館記念日終日常設展示室無料及び先着250組限定粗品贈呈等

開館25周年記念日である令和6年3月27日(水)は、終日常設展示室を無料開放し、先着250組に粗品を贈呈した。来館者は1,676人を数えた。

② 開館25周年記念スタンプラリー(達成度に応じた粗品贈呈)

常設展示室への入室を条件とした館内誘導策として下記期間で実施した。

実施期間: 令和6年3月28日(木)～12月27日(金)

(景品交換は令和7年1月末まで)

○配布状況、過去との比較（令和6年12月27日現在）

	交換数			台紙	
	参加賞	チャレンジ賞	パーフェクト賞	配布数	印刷数
開館25周年	669	1,790	41	4,436	6,000
開館20周年	169	107	31	771	3,000

※開館20周年時は、常設展示室入室を条件に含んでいない。

③ 特別映画上映会

「映画で見るさまざまな疎開」と題して特別映画上映会を2日間にわたり開催した。保育園疎開をとりあげた「あの日のオルガン」（平成30年製作）、図書館の蔵書疎開をとりあげた「疎開した40万冊の図書」（平成25年製作）の2作品を上映した。

- ・開催期間 令和6年9月14日（土）～15日（日）
9月15日（日）のみ午前・午後2回上映
- ・会場 昭和館3階研修室
- ・入場者数 194人

④ 落語上演会

「落語で学ぶ戦中・戦後の国民のくらし」と題した落語上演会を開催した。

東京大空襲を体験された落語家柳家さん八氏による実話をもとにした新作落語「東京大空襲夜話」を上演。

上演の前に、当館所蔵の東京大空襲を伝える映像を放映するとともに、館内施設（7・6階常設展示室、5階映像音響室、4階図書室）への誘導を促し、東京大空襲をはじめ、当時の国民が経験した労苦に対する理解を深める工夫に努めた。

- ・開催期日 令和6年6月30日（日） 午後2時～4時
- ・会場 昭和館 3階 研修室
- ・入場者数 130人

⑤ 開館25周年記念メモリアル懸垂幕掲揚

昭和館正面に開館25周年メモリアル懸垂幕を令和6年1月18日より掲揚し、広報に努めた。

⑥ 4月以降、毎月25日先着25組限定粗品贈呈

4月以降、12月まで毎月25日（休館日11月25日を除く）に先着25組に粗品を贈呈し、更なる周知や再訪に繋げた。

⑦ 高校生・大学生を対象とした語り部との交流企画

「次世代の語り部と考える“戦争を語り継ぐこと” in 昭和館」開催

12 アンケート結果 (令和6年4月1日～令和6年12月27日現在)

昭和館のアンケート調査は、平成11年7月から実施し、広報活動、各種企画展、常設展示室の改善の他、顧客満足度アップのため実施している。1階 ニュースシアター、4階 図書室、5階 映像・音響室、6階 常設展示室においてアンケートを設置している。

さらに春・夏に開催する特別企画展及び紙芝居についてのアンケートも実施することとしている。

昭和館について (特別企画展含・紙芝居除く) ○回収枚数 3,114 枚 (うち特別企画展 2,295 枚)

アンケート概要

○昭和館をどのようにして知ったか (複数回答)

通りかかって	当館HP・SNS	友人・知人	昭和館だより (DM 含む)	新聞・TV・ラジオ	駅看板	その他
30.7%	19.4%	11.4%	9.8%	7.5%	7.3%	13.9%

○利用回数 (常設展示室)

1 回	2 回	3 回	4 回以上	未回答
80.6%	9.9%	1.7%	6.9%	0.9%

○展示内容 (常設展示室)

良い	普通	わかりにくい	未回答
88.9%	8.9%	1.2%	1%

○性別 (常設展示室・特別企画展)

男性	女性	未回答
64.6%	34.6%	0.8%

○年齢別 (特別企画展含む)

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答
15.3%	9%	7.5%	11.9%	22.3%	20.5%	8.8%	3.3%	1.4%

○住所 (常設展示室・特別企画展)

東京都	神奈川県	埼玉県	千葉県	その他	未回答
53.8%	13.3%	11%	10%	10.5%	1.4%

○展示を見て「戦中・戦後」の理解が深まったか (常設展示室)

大変深まった	深まった	それほどでも	深まらなかった	未回答
61.4%	34.3%	3.1%	0.5%	0.7%

春の特別企画展 (昭和を駆け抜けた超特急～燕、そして新幹線へ～) について ○回収枚数 1,969 枚

アンケート概要

○利用回数

1 回	2 回	3 回	4 回以上	未回答
74.2%	9.2%	4%	12.3%	0.3%

○展示内容について

大変良い	良い	普通	つまらない	未回答
60.7%	33.9%	4.7%	0.3%	0.4%

○「昭和の超特急」についての理解が深まったか

大変深まった	深まった	それほどでも	深まらなかった	未回答
42.3%	52.5%	3.9%	0.5%	0.8%

○展示品の数について

多い	丁度良い	少ない	未回答
6.8%	80.5%	12.1%	0.6%

【主な意見（春の特別企画展）】

- ・鉄道にはあまり興味が無かったが面白かった。戦前～戦後の鉄道が良くわかった。(60代・女性)
- ・戦前から戦後にかけての特急列車の推移がわかりやすく展示されていて良かった。食堂車のメニューや料金表が展示されていて今は走っていない食堂車の状況がわかった。日本の鉄道技術の素晴らしさがわかる展示だった。(60代・男性)
- ・当時使用されていた乗車券や路線図、ポスター等の展示が豊富でとても見やすく興味をかき立てられる企画だった。現在の東京ステーションホテルで使用されている皿に描かれているロゴマークは今でも目にする機会があり歴史と鉄道の深い結びつきを感じられた。(20代・男性)
- ・戦時中、旅行に行くのに許可証がいるとは知らなかった。鉄道も戦争と無関係ではいられなかったのだと思った。戦前のつばめの列車は今見てもモダンだと思う。子供の頃はまだ食堂車やブルートレインがあった事を懐かしく思い出した。大変面白かった。(40代・女性)
- ・こだま開業年(1964年)に乗った。大変懐かしく感動した。鉄道の苦難の歴史を知り、大変勉強になった。また来たいと思う。(70代・男性)
- ・今年からJRで働くので知識と教養を付ける事ができた。戦後復興として特急つばめが象徴として日本を導いていたのは大変興味深い。(20代・男性)
- ・北陸新幹線の延長、春のダイヤ改正などの今、ちょうど良い企画だと思った。実物展示が多く、鉄道ファンの関心もひく良い内容だった。(50代・女性)
- ・駅弁の掛け紙がとても良かった。錦水亭、水了軒、伯養軒の食堂車など、今では見られなくなったり大幅に事業を縮小したり、時代を感じさせられた。昭和ヘタイムスリップできた。(30代・男性)
- ・60年来の鉄道ファンなので大いに楽しませてもらった。すでに知っている事も多かったが、戦時中でもハイキングやスキーは鍛錬として推奨されていた事は知らなかった。また昭和10年頃のチラシにのちの新幹線に通じるデザインの想像上の特急列車が描かれている事にも驚いた。鹿児島の田舎の子供にとって、絵本や図鑑で見るビジネス特急こだまや超特急ひかりはまさに眩しい夢の存在。子供の頃を懐かしく思い出した。アンケートの鉛筆入れが「国鉄コンテナ」。担当者はかなりの鉄道ファンだとお見受けした。(60代・男性)
- ・昔の特急という存在についての理解が深まり、新幹線という超特急が生まれるまでの長い道のりが理解できた。(中学生・男性)
- ・今は簡単に短い時間で行ける所も昔はとても長い旅で大変だったんだなと思った。(小学生・女性)
- ・鉄道に興味があったので初めて来館。以前から来たいと思っていたのでとても良い機会となった。解説も多くわかりやすく実物や写真も充実していたと思う。図録もあるので楽しみ。展示スペースの通路が広がった事や導線がわかりやすいのも良かった。(30代・女性)
- ・鉄道に関心があり来館。昭和館の企画という事でやはり戦中・戦後の復興というところにスポットが当たった展示で充実していて大変興味深く心に残った。(大学生・女性)
- ・普段は見られない、大宮・京都の両鉄道博物館の所蔵品が一度に見れて大変良かった。(複数意見)
- ・貴重なチラシなどが綺麗な状態で見れて楽しかった。その時代の列車に乗ってみたいと思った。特に東京発ベルリン行きの切符にはロマンを感じた。(50代・女性)
- ・映像資料はとても貴重なものが多く、特に1946年の燕の映像や蒸気機関車の写真はなかなか見れないのでとても勉強になった。(大学生・男性)
- ・鉄道を通じて昭和史の一部を学べて良かった。また、テールマークや座席の実物を見れた事は大変貴重だった。(40代・男性)
- ・在来線で走り始めた特急から新幹線ひかり、そして特急の愛称のきっかけとなった「つばめ」までの流れを当時の社会背景をうまく取り込んだ形で構成されていてとても良い内容の企画展だった。戦争

- と鉄道との結びつきが強かった事も改めて知る事ができて大変勉強になった。(30代・男性)
- ・国鉄に在職していたが、社内ではこのような説明はなく自分なりに勉強し歴史を知り勤務して良かったと思った。今回、知識の不足部分を知り勉強になった。(70代・男性)
 - ・特に戦時中の話で、宮脇俊三「時刻表昭和史」や阿川弘之の乗り物エッセー系の作品がとても良かった。交通道德や旅行許可証のあたりはさすが昭和館だと思った。(20代・男性)
 - ・昭和館でないと展示をためらうような資料もあって大変参考になった。(50代・男性)
 - ・鉄道に関心のある人だけでなく一般の人にもわかりやすい内容だったと思う。戦時中や占領下の鉄道の状況にも触れる良いきっかけになったと思う。(50代・男性)
 - ・無料とは思えない程いろいろな資料が展示されていて興味深かった。昭和の歴史と鉄道の生い立ちがリンクしていて大変おもしろく感じた。(中学生・男性)
 - ・説明が簡潔でわかりやすい。展示品の選定も良い。(30代・男性)
 - ・交通規制というものについて今まで詳しく知る機会がなかったので勉強になった。(30代・女性)
 - ・見やすい展示内容だった。イタリア訪日団の映像は貴重。(複数意見)
 - ・イベント「0系ミニ新幹線に乗って記念撮影をしてみよう！」では大人も子供も乗れて楽しかった。(複数意見)
 - ・パネル解説の文章が大変わかりやすかった。(複数意見)

夏の特別企画展（慰問 銃後からのおくりもの）について

○回収枚数 326 枚

アンケート概要

○利用回数

1回	2回	3回	4回以上	未回答
41.4%	12.3%	8.9%	37.4%	0%

○展示内容について

大変良い	良い	普通	つまらない	未回答
63.5%	31.3%	5.2%	0%	0%

○「戦中・戦後の暮らし」の理解が深まったか

大変深まった	深まった	それほどでも	深まらなかった	未回答
53.4%	43.6%	2.4%	0%	0.6%

○展示品の数について

多い	丁度良い	少ない	未回答
6.4%	81.6%	12%	0%

【主な意見（夏の特別企画展）】

- ・「慰問」について考える事や見聞きする機会が今までなかったが、殺伐としていた戦時中の兵士たちの心にひと時の平穏・安らぎを与えてくれる大事な取り組みだった事がわかった。(40代・男性)
- ・私が昭和館に企画して欲しい展示が「まさにこれ」と頷きながら1つ1つ拝見した。いろいろな展示があったが、慰問文のコーナーが最も心に残った。令和を生きる私達は残されたものから自分なりに想像するしかできない。解説で補っていただきよりこの時代の人々の理解を深める事ができたのではないかと思った。(30代・女性)
- ・慰問文・慰問袋の実物を見て読む事ができた事は大きな経験となった。呉や長崎の資料館では遺書のような手紙が多かっただけに、兵士を「お兄様」と慕う学生の手紙などは非常に心に残った。(大学生・男性)
- ・兵士がどれだけ内地から送られてくる慰問品や慰問団に心を癒されていたかがすごく伝わってきた。また慰問品を送る側の心のこもった気持ちもすごく伝わってきた。(50代・男性)
- ・すべての展示品に胸がいっぱいになった。解説も良くできており大変参考・勉強になった。慰問に大

勢に方々が関わっていた事を初めて知った。(60代・女性)

- ・大変優れた企画。「慰問」についての基礎知識が得られた。これからも特に「銃後」の多様なテーマを取り上げて欲しい。(60代・男性)
- ・「銃後」というテーマで一般の人々にスポットライトを当てた企画は過去にも見た事がなかったので大変興味深く拝見した。戦地からの礼状にはどんなにか兵士を慰める役に立っていたかが分かりとても感動し涙した。(60代・女性)
- ・血生臭さがなく戦争の虚しさや悲しさが伝わる良いテーマだったと思う。戦争を取り上げると武器や犠牲になった遺族の品などの展示が多くなってしまうが、今回のような慰問や後方支援をテーマにした企画は今後も続けて欲しいと思う。(30代・男性)
- ・とても良い企画だった。レプリカでいいからデパートでの慰問袋セットと一般の手作りセットの比較なども見せて欲しかった。恤兵という今では使われなくなった言葉、そして巨大組織・恤兵部をもう少し掘り下げても良かったと思う。もう一度完全版を企画して欲しい。(40代・男性)
- ・なかなか見る事のできない資料を見る事ができて大変勉強になった。当時の人々の気持ちや普段の暮らしについて考える機会となった。(中学生・女性)
- ・兵士の笑顔の写真を見て、その後を思い胸が痛くなった。(20代・女性)
- ・普段日本史や世界史を学ぶだけでは得る事のできない知識を得る事ができた。(高校生・女性)
- ・このような時代があった事が信じられない。もう二度とこのような時代に戻らないようにする事を私達大人が考え、行動していかなければいけないと思う。(50代・女性)
- ・戦争について理解が深まった。知らなかった事もあって戦争について知る良い機会となった。(中学生・女性)
- ・かつて書いた慰問文。当時は幼く意味も分からず書いていたが、兵隊には思った以上に感謝されていたようで感激したが、このような慰問が必要のない世界を望みます。(80代・男性)
- ・慰問袋にフォーカスするという視点が大変ユニークで理解が深まった。(60代・男性)

常設展示室について

○回収枚数 583 枚

アンケート概要

○利用回数

1 回	2 回	3 回	4 回以上	未回答
80.6%	9.9%	1.7%	6.9%	0.9%

○展示内容について

良い	普通	わかりにくい	未回答
88.9%	8.9%	1.2%	1%

○「戦中・戦後の暮らし」の理解が深まったか

大変深まった	深まった	それほどでも	深まらなかった	未回答
61.4%	34.3%	3.1%	0.5%	0.7%

○展示アプリガイドについて

わかりやすい	普通	わかりにくい	未回答（未使用含む）
28.1%	8.9%	0.9%	62.1%

【主な意見】

- ・戦時中の様子、特に千人針の実物を見たのは初めてだったのでとても細かい作業でびっくりした。(60代・女性)
- ・戦時中の暮らしに関する資料を間近に見られて大変興味深かった。終戦の「詔」の訳文はとてもわかりやすく理解が深まった。(50代・女性)
- ・展示品が定期的に入れ替わっていて新鮮さを感じた。(50代・男性)

- ・各ブースに動画があつてわかりやすかった。手押しポンプが良かった。(小学生・女性)
- ・テレビでは一部しか流れない天皇陛下の玉音放送がこんなに長い文章で難しい表現であつた事に驚いた。(60代・男性)
- ・何回来館してもぜんぜん飽きず、むしろたくさんの知識を深める事ができとても楽しかった。
(20代・男性)
- ・展示資料の多さ・深さが想像以上だった。(20代・女性)
- ・学習シートや体験コーナーがあり子供にもわかりやすい展示だと思った。実物資料やレプリカも展示してあつたので生活の様子がイメージしやすかった。闇市の残飯シチューの話は聞いた事があつたが再現したサンプルを見るとより苦しい生活の様子が目に浮かんだ。(20代・女性)
- ・教員をしており平和学習の参考になるかと思ひ来館した。テーマごとの展示なのでわかりやすい内容だったし、実物展示なので伝わるものがあつた。とても見応えのある展示だった。(50代・女性)
- ・戦前・戦後の生活への理解が深まった。今との生活の違いを改めて感じた。(50代・女性)
- ・今の平和があるのは戦禍を生き抜いて現代に繋ごうと努めた先人のおかげだと強く実感する契機となった。(大学生・女性)
- ・実物資料や映像があり視覚的にわかりやすい展示だった。近現代史の博物館展示をしている館は少ないので参考になった。(大学院生・男性)
- ・疎開中の母子の手紙、防空壕など当時の人達を思うと涙が出た。当時の人々のおかげで今の日本人は幸せに暮らせている事を感謝しなくてはいけない。(40代・女性)
- ・非常にわかりやすい展示で勉強になった。(複数意見)
- ・展示物、説明資料の量が豊富で全く飽きずに勉強できた。教員なので学校の授業で生かしていきたいと思った。(20代・女性)
- ・昭和初期の暮らしが手に取るように理解できた。玉音放送を初めて最初から最後まで拝聴して大変勉強になった。(40代・男性)
- ・戦中・戦後の事がたくさん知れて良かった。7階の模型が特に興味深く感じた。ぜひもう一度訪れたいと思った。(中学生・女性)
- ・わかりやすくて面白かった。子ども学習シートは大人でも面白い。(大学生・女性)
- ・展示品がたくさんあり見やすかった。大学でレポートをまとめるために来館したがまた来たいと思う。(大学生・女性)
- ・戦争を忘れないために、もっとたくさんの人に見に来て欲しい。素晴らしかった。(50代・女性)
- ・胸がつまる思い。まだ知らない事はたくさんある。(50代・女性)
- ・1つ1つの映像に説明がされていて大変わかりやすかった。ブース毎に生活の様子がわかるイラストがあるのも良かった。(中学生・男性)
- ・当時の卒業証明書など普段見れないものを見て戦争についてもっと知り理解を深める事ができた。
(中学生・女性)

ニュースシアターについて (複数回答)

○回収枚数 54 枚

アンケート概要

○利用回数

1 回	2 回	3 回	4 回以上	未回答
50%	3.7%	3.7%	40.7%	1.9%

○上映時間

普通	長い	短い	未回答
88.9%	3.7%	3.7%	3.7%

○上映本数

普通	多い	少ない	未回答
70.4%	5.5%	3.7%	20.4%

○上映希望年代（複数回答）

昭和10年代	昭和20年代	昭和30年代	未回答
29.6%	28.4%	35.8%	6.2%

○上映希望映像（複数回答）

事件	文化	スポーツ	その他	未回答
28.2%	27.1%	22.4%	14.1%	8.2%

【主な意見】

- ・当時のニュース映像を見ることができ良かった。当時の雰囲気が伝わった。(20代・女性)
- ・ニュース映画を実際に見て当時の社会状況を伝えるメディアとして機能していた事が知れた。
(大学生・男性)

図書室について（複数回答）

○回収枚数 60 枚

アンケート概要

○利用回数

1回	2回	3回	4回以上	未回答
91.7%	3.3%	3.3%	1.7%	0%

○主な目的（複数回答）

本・雑誌を読む	レポート・論文	出版等の調査	個人の趣味・研究	その他	未回答
62.9%	0%	1.6%	29%	6.5%	0%

○書籍、雑誌の量

適当	少ない	未回答
83.3%	16.7%	0%

【主な意見】

- ・戦争の時代は本当に苦しかったんだと改めて気づかせてくれた本があった。(中学生・女性)
- ・子ども気軽に手に取れる資料がもっと多くあるといいと思う。(小学生・女性)・
- ・常設展示室や特別企画展は知っていたが、図書室やデジタルアーカイブの存在は知らなかった。
もっと広報してもよいのでは。(小学生・女性)
- ・調べてみようのワークシートがとても良かった。子どもが喜んで取り組んでいた。(40代・女性)
- ・もっと雑誌を増やして欲しい。(小学生・男性)
- ・インターネットで検索できるようになったおかげで祖父の書いた書籍と出会うことができた。
(50代・女性)

音響・映像室について

○回収枚数 122 枚

アンケート概要

○利用回数

1回	2回	3回	4回以上	未回答
90.1%	4.9%	2.5%	2.5%	0%

○利用した資料（複数回答）

写真	進駐軍が撮影した資料	ニュース映画	オーラルヒストリー	アニメーション	SP レコード
23.3%	17.2%	25.1%	4.2%	15.8%	14.4%

○情報検索システム

使いやすい	普通	使いにくい	未回答
62.3%	33.6%	2.5%	1.6%

【主な意見】

- ・流行歌の本、映画やお芝居の歌などの特集を読んだり聞いたりしてみたい。（40代・女性）
- ・素晴らしい。貴重な情報ばかり。友人と一緒になのでまた来館します。時間をかけてニュース映像を見たい。（70代・男性）
- ・米軍が残したカラー映像をもっと見たいと思った。（40代・男性）
- ・文献では知っていた「ヤマガラにおみくじを引かせる芸」を映像で見る事ができて良かった。（40代・男性）
- ・懐かしのSPレコードで子どもの頃、母親が口ずさんでいた曲を聴き、楽しい思い出が甦った。（50代・女性）
- ・戦中のニュースと戦後のニュースを比べて見る事ができた。（中学生・女性）
- ・戦中・戦後の食事についての写真や動画が見たい。（小学生・女性）
- ・東京だけでなく 47 都道府県の写真を見る事ができて大変驚いた。再来してじっくり資料を見たいと思う。（30代・女性）
- ・石川光陽写真と併せて写真や映像・絵画を閲覧した。戦中・戦後の移り変わりが庶民視点で良く伝わり心が痛んだ。（大学生・女性）

紙芝居（全4回）

○回収枚数 104 枚

アンケート概要

○紙芝居をどのようにして知ったのか

通りかかって	昭和館 HP	友人・知人	その他	未回答
56.4%	15.5%	6.4%	19.9%	1.8%

○見学回数

初めて	2回目	3回目	4回目	未回答
87.5%	5.8%	2.9%	2.9%	0.9%

○紙芝居の内容

大変良い	良い	普通	つまらない	未回答
51%	31.7%	1.9%	0%	15.4%

○性別

男性	女性	未回答
56.7%	42.3%	1%

○年齢別

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答
12.5%	9.6%	4.8%	16.3%	27.9%	12.5%	7.7%	5.8%	2.9%

○住所

東京都	神奈川県	埼玉県	千葉県	その他
54.9%	7.7%	8.6%	14.4%	14.4%

【主な意見】

- ・ どの話もおもしろかった。昭和の紙芝居の代名詞「黄金バット」が見られて良かった。
(40代・男性)
- ・ 街頭紙芝居を初めて見た。いかにも子供向けのものかと思っていたが、「吾一につづりかた」のようなシリアスな人間ドラマもあると知り興味深かった。今でいう連ドラを見るような感じで、当時のみなさんも楽しみにしていたんだろうと想像できた。(40代・女性)
- ・ 貴重な日本の文化なのでずっと残していってほしい。(50代・男性)
- ・ 声に迫力があってとても良かった。また見たい。物語のストーリーが分かりやすく楽しく見る事ができた。(高校生・男性)
- ・ 昭和館で所蔵している紙芝居を上演するという企画はとても良いと思う。(70代・女性)
- ・ 大変楽しく拝見した。子供の頃は公民館などで見た事があった。いろいろと想像力を働かせながら見る紙芝居はとても良い。これからも頑張りたい。(50代・男性)
- ・ 子供の頃を思い出して楽しいひと時を過ごす事ができた。(60代・男性)
- ・ 黄金バットは知っていたが紙芝居で見るのは初めてだった。とても面白く楽しかった。
(20代・女性)

巡回特別企画展について

◎大分展 令和6年6月19日(水)～6月30日(日)

○回収枚数 1,044 枚

アンケート概要

○展示会をどのようにして知ったか

新聞・テレビ・ラジオ	チラシ・ポスターを見て	学校	市報	遺族会	SNS	その他 (未回答含む)
20.9%	20.4%	13.2%	3.7%	5.4%	2.6%	33.8%

○展示内容について

良い	普通	わかりにくい	未回答
87.4%	10.9%	0.8%	0.9%

○性別

男性	女性	未回答
42.1%	56%	1.9%

○年齢別

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答
5.2%	5.6%	7.9%	14.5%	15.6%	19.4%	14.6%	6.9%	10.3%

○住所

大分市内	別府市	大分県	福岡県	その他	未回答
63.1%	7.4%	16%	3.6%	8.9%	1%

【主な意見】

- ・ 戦中・戦後の地元・大分県がどのようなだったのかが良くわかった。知らない事だらけだった。
(30代・女性)
- ・ 普段目にする事がない昭和10年～30年の暮らし、世情、戦争について知る事ができた。
(60代・男性)
- ・ 貴重な資料が展示されていて良かった。(複数意見)
- ・ 良かった。もう一度来ます。(70代・女性)

- ・ 1つ1つの展示品に説明があり、当時の状況などをイメージする事ができた。(30代・男性)
- ・ 戦時中の大分県の様子が良くわかった。(複数意見)
- ・ 知識としては知っていた物の現物を見る事ができ、さらにイメージがわいた。(20代・女性)
- ・ 赤紙、千人針の実物を見られて良かった。(40代・女性)
- ・ テレビでしか見た事のない現実を目の前にして、昔の人たちの苦悩と復興への努力を痛感した。
(40代・女性)
- ・ 当時の貴重な資料が多くあり、説明もわかりやすかった。(高校生・男性)
- ・ とても感銘を受けた。改めて平和の大切さを実感した。(70代・女性)
- ・ 大分県に特化した内容で身近に感じられた。(40代・女性)
- ・ 現物を見て戦争の苦勞が少しはわかった気がする。(60代・女性)
- ・ 写真を見てあんな時代があったとは驚いた。(70代・女性)
- ・ 戦中・戦後の人々の苦勞や楽しみ、幸せを見つけて生き抜いた情景が浮かんだ。多くの示唆があった。
(20代・男性)
- ・ やはり実物は説得力がある。忘れてはいけないと思う。(60代・女性)
- ・ 非常によく工夫されて展示されていた。解説も詳しく書かれていた。(60代・男性)
- ・ 歴史の教科書でも見た事のない資料や写真を見る事ができた。(高校生・女性)
- ・ 私の知らない時代の様子をうかがう事ができ良い経験となった。(20代・女性)
- ・ なかなか見られない内容で記憶に残った。(70代・男性)
- ・ 大分県での空襲や生活など詳しく知る事ができた。(中学生・男性)
- ・ 時代の流れに沿った展示がわかりやすかった。(中学生・女性)
- ・ 当時の状況を知る具体的な資料が多かった。(50代・男性)

◎京都展 令和6年12月18日(水)～12月28日(土)

○回収枚数 243枚

アンケート概要

○展示会をどのようにして知ったか

新聞・TV・ラジオ	市報	通りかかって	他の美術館・博物館	遺族会	友人・知人	その他(未回答含)
12%	13.6%	17.2%	16.8%	3.6%	6.8%	30%

○展示内容について

良い	普通	わかりにくい	未回答
84.8%	15.2%	0%	0%

○性別

男性	女性	未回答
60.5%	35%	4.5%

○年齢別

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答
2.4%	2.1%	4.5%	7%	16%	26.7%	23.5%	15.6%	2.2%

○住所

京都市内	宇治市	長岡京市	京田辺市	城陽市	未回答(未回答含)
63.4%	1.6%	1.2%	1.6%	1.2%	31%

【主な意見】

- ・昭和の懐かしい物もあり、知らなかった物もあり、楽しんで見る事ができた。来訪したかいがあった。(60代・男性)
- ・沢田研二コレクションがラストに展示されているのには驚いた。ユニークで良かった。(70代・男性)
- ・とても良かった。またこのような展示を見たい。もっと大々的に広めたら良いと思う。子供や若者にも見て欲しい。大切な資料を残さなければならないと思う。(50代・女性)
- ・両親から戦前の暮らしを聞く事ができたが、子や孫の世代になるとあまりにも遠い世界の出来事のようにでまともに取り合ってくれない。忍耐のいる事だがこのような巡回展を続けていただきたい。私も折に触れ、伝えて続けていきます。(50代・女性)
- ・昭和11年生まれの祖母が懐かしんで楽しそうに見ていた。祖母の子供の頃の文化に寄り添えて良い機会となった。(30代・女性)
- ・貴重な資料を拝見できて良かった。今後も期待している。子供達や若い世代にぜひ見て欲しい内容だった。特に浜村淳さんの話は心に染みた。(50代・女性)
- ・解説文がとてもわかりやすかった。京都府内各地の資料が展示されていて単なる巡回展ではなく工夫されていると感じた。(50代・女性)
- ・大阪は戦災を多々受けていて、京都市内はほぼ戦災を受けずに現在に至る。その辺りの事を考えさせられた。(50代・男性)
- ・昭和館がこのような活動をしている事を知り大変驚いた。得てして戦争関係の話は思想的に偏るものだが、なかなか素晴らしく公平な話だった。展示も同様に良かった。(70代・男性)
- ・この企画展をどれだけの日本人が知っているのだろう。私もたまたま通りかかったただけなのに初めて見て胸が締め付けられるようだった。もっとこの企画展は今を生きる若い人達に見てもらおうべく全国展開しても良いのではないか。(50代・女性)
- ・高校生の子供を連れてくればよかった。当時の知識がまったくない若い人にも良くわかる展示だと思った。(50代・女性)
- ・最初は戦争って怖いなと軽い気持ちだったが、実際に経験した人の体験談を聞いたり、赤紙や当時の写真などを見てこんなにひどい事があったんだ、こんなに苦しい思いをした人達がたくさんいたんだと改めて感じた。学校の授業で戦争の話が出てくるけど、その話も空襲がきたり家が燃えたりと悲惨な事がおきていて今こうして生きれて良かったと思った。(小学生・女性)
- ・もっと多くの人に知ってもらおうよう広報を行ってもよいのでは思った。(複数意見)